

安心、安全な町づくりを

新宮市 城南校区クリーン作戦に500人

集めたごみを分別する参加者
 11月6日、新宮市立城南中学校



新宮市立城南中学校（中田善夫校長）生徒会と城南地域共育コミュニティ本部は6日、「城南校区クリーン作戦」を実施し、城南中181人、市立王子ヶ浜小学校の5、6年生107人、王子幼稚園の園児11人、教職員、育友会、市教育委員会、

地域住民ら約500人が15班に分かれ、阿須賀神社、浮島の森、下田児童館など14カ所から出発。城南中を目指してごみ拾いに励んだ。

地域貢献の一環として毎年行われており、縦割りグループで作業し、中学生の自覚を深めて学校と地域の連携を強めるのが目的。以前は生徒会が「通学路クリーン作戦」として主催しており、2009年から現在の形で実施している。

集合した参加者を前に、城南中学生徒会の高塚恒輝会長（3年）は「小、中学生、幼稚園児、地域の皆さんで町を清掃した。大変だったと思いますが、きれいになり、協力して取り組めて、けがや大きなトラブルもなかったので良かった。」

王子ヶ浜小の山本真也校長は、大勢の人が活動に取り組んだおかげでたくさんのごみが集まったと感謝。環境が整うというのは大切なこととし「きれいな状態でごみを捨てるのはためらいが出る。地域住民の方たちの気持ちも落ち着き、安心、安全な町づくりにつながります」とあいさつした。

地域共育コーディネーターの大石熊野さんは「みんなでのチームになって進んでいきたい。今後も継続して活動を行いたいと思うので、協力よろしくお願いします」と呼び掛けた。
 （榮本康人）



たばこの吸い殻やペットボトルを拾い集めた